

令和7年度第4回横手市地域公共交通活性化協議会
報告② 「交通空白」解消緊急対策事業の実施状況について

令和8年1月16日（金）
総務企画部経営企画課

目次

1. 補助事業概要について
2. 横手市地域公共交通計画における位置づけについて
3. 補助事業内で取り組みたいことについて
4. 交通空白地について
5. 各交通の乗降実績について
 - ① デマンド交通
 - ② 循環バス
 - ③ 有償旅客運送
 - ④ 乗合タクシー

目次



1. 補助事業概要について
2. 横手市地域公共交通計画における位置づけについて
3. 補助事業内で取り組みたいことについて
4. 交通空白地について
5. 各交通の乗降実績について
 - ① デマンド交通
 - ② 循環バス
 - ③ 有償旅客運送
 - ④ 乗合タクシー

● 補助事業概要について

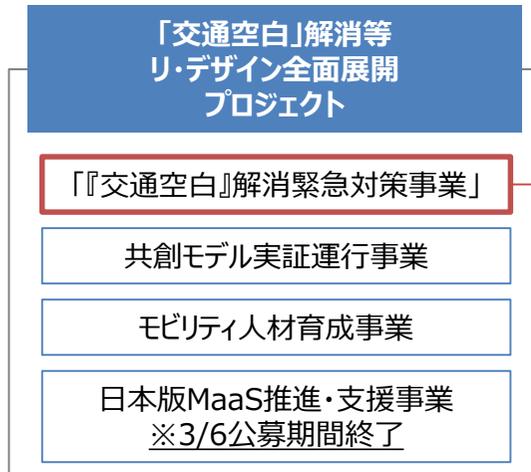
「交通空白」解消や地域の多様な関係者の「共創」による地域交通の維持・活性化の取組等を支援する取り組み

・ 「交通空白」 解消緊急対策事業概要：

「交通空白」の課題があると自治体が判断した地域において、公共ライドシェア・日本版ライドシェアやAI デマンド、乗合タクシー等の「交通空白」の解消に向けたサービスを実施するための仕組みの構築を支援する事業を対象とします

・ 所轄：

国土交通省 総合政策局地域交通課
物流・自動車局旅客課



【担当部署】
総合政策局（地域交通課）
物流・自動車局（旅客課）

「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト（令和7年度）
「交通空白」解消緊急対策事業

何らかの対応が必要な「交通空白」を抱える地域において、「交通空白」の解消に向けたサービスを実施するための仕組みの構築を支援します！

補助対象事業者
公共ライドシェア・日本版ライドシェア等、新たに導入する交通サービスの運行主体（運行委託する場合を含む）となる地方自治体、交通事業者、NPO法人、観光協会、商工会、社会福祉協議会等又はそれらを含んだ協議会 ※

補助対象経費

- ① 事業実施のための基礎データ収集・分析、協議会・説明会等開催に要する費用（懸念ヒアリング調査・利用予測シミュレーション、有識者謝金・会場使用料等）
- ② サービス提供のために必要となる車両の導入、配車アプリ・運行管理等のシステム開発・導入、運転者募集等に要する費用（車両の購入・リースによる取得、仕切板、ドライブレコーダー等の設置、運転者を募集するための広告費用等）
- ③ 実証事業に要する費用（運行経費、実証事業後の利用データ分析、路線・区域・料金設定等の検討等）

【事業イメージ例】 以下のような検討段階から地域の合意形成までの取組みについて、ワンストップの支援を想定

- 公共ライドシェア等の導入にあたり、実証運行する地域・時間帯の特定に向けた調査、利用予測シミュレーション等
- 実証運行の実施体制構築・合意形成に向けた地域調整
- 実証運行に係る車両・配車アプリ等の導入、車両改裝・ラッピング、運転者募集等
- 実証運行経費・実証運行後の利用データの分析・検証等
- 本格運行に向けた住民説明会

補助④
500万円まで定額、500万円を超える部分は2/3（上限1億円）

※ 車両購入に係る費用については定額補助の対象外（車両購入は、対象事業者自身が有する車両がサービス提供のために活用できない場合に限る）
※ 都道府県が主導するなど複数市町村が共同してサービスを提供することを予定している場合、補助対象経費のうち①については定額の引き上げ（上限2,000万円）
※ 一度本補助を受けた同一自治体内において同一類型の別の事業（別地域での実施）への補助を受ける場合、2件目以降の補助については1/2

問合せ先 令和7年度「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト事務局
メールアドレス： contact@tsu-kohaku.jp
コールセンター： 0570-000984

公募期間 令和7年3月10日（月）～4月7日（月）
【採択時期目安：令和7年4月中（予定）（先着順）】
※ 採択路線の廃止・廃業等を防いだり終交通の導入によって、かつ緊急的な対応の必要が認められる場合に限り、先んじて採択運行開始が前提です。

※応募にあたっては、自治体が「交通空白」と認める地域で実施することが要件となります。
※自治体については、「交通空白」解消・官民連携プラットフォームに加入していることが要件となります。



出典：令和7年度「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト

目次



1. 補助事業概要について
2. 横手市地域公共交通計画における位置づけについて
3. 補助事業内で取り組みたいことについて
4. 交通空白地について
5. 各交通の乗降実績について
 - ① デマンド交通
 - ② 循環バス
 - ③ 有償旅客運送
 - ④ 乗合タクシー

● 横手市地域公共交通計画における位置づけについて

| 横手市地域公共交通計画 | | | | | | | | |
|--------------------------------|--|--|---------------------------|----|----|----|-----|-----------------|
| -プロジェクトに紐づく施策・事業- | | | | | | | | |
| プロジェクト | 実施事業 | 具体的な取り組み事項 | 実施スケジュール(年度) | | | | | 実施主体 |
| | | | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | |
| プロジェクト① 交通網整理・見直し推進プロジェクト | 施策①-1 生活バス路線の維持 | ○国や県の補助を活用した支援の継続 ○利用状況に合わせたダイヤの調整 ○公共施設等の整備状況を踏まえた運行ルートの見直し ○交通結節点の利便性向上 | 既存事業の継続実施 新規事業の検討 → 実施 | | | | | 交通事業者・横手市 |
| | 施策①-2 地域内交通の整理・見直し | ○横手市循環バスの運行形態の見直し ○横手デマンド交通の維持と運行内容の協議継続 ○廃止代替交通の整理・見直し | 協議・検討 → 実施 | | | | | 交通事業者・横手市 |
| プロジェクト② 情報入手環境向上プロジェクト | 施策②-1 ICTを活用した利便性向上の検討 | ○バスケーションシステムが利用できる路線の拡大 | 協議・検討・調整 → 実施 | | | | | 交通事業者・横手市 |
| | 施策②-2 スマートフォンアプリ等と連携した公共交通情報の入手環境整備 | ○「MINEBA(ミネバ)」や「よこてれび」などの既存システムを活用した公共交通に関する情報発信の環境整備 | 協議・検討・調整 → 実施 | | | | | 横手市・交通事業者 |
| プロジェクト③ 地域が守り・育てる公共交通プロジェクト | 施策③-1 地区交流センター事業との連携による多様な取り組みのサポート | ○自主運営組織など、地域で暮らしの足・おでかけの足の確保に向けた取り組みに対する支援 | 実施 | | | | | 地域住民・横手市・交通事業者 |
| | 施策③-2 地域が主体となった運行の検討支援 | ○地域ごとの実情に応じた取り組みやすい環境の支援 ○ライドシェアの導入可能性の検討 | 実施 | | | | | 地域住民・横手市・交通事業者 |
| プロジェクト④ 公共交通利用促進プロジェクト | 施策④-1 地域公共交通を利用してもらうきっかけづくり | ○観光施設や飲食店等のサービスを組み合わせた企画乗車券の販売 ○スーパーと連携した利用促進の実施 | 協議・検討・調整 → 実施 | | | | | 交通事業者・横手市 |
| | 施策④-2 JR北上線の利用促進 | ○JR北上線の利用促進に向けた取り組みの継続実施・支援 | 実施 | | | | | JR北上線利用促進協議会 |
| | 施策④-3 運転免許証自主返納者や高齢者への支援 | ○運転免許証自主返納者に対する公共交通利用回数券交付の継続実施 ○交通助成券の交付(自家用車を持たない75歳以上) | 実施 | | | | | 横手市・交通事業者・横手警察署 |

補助事業（「交通空白」解消緊急対策事業）を活用

関連施策

プロジェクト①交通網整理・見直し推進プロジェクト
L施策①-1：生活バス路線の維持

プロジェクト③地域が守り・育てる公共交通プロジェクト
L施策③-2：地域が主体となった運行の検討支援

【R7実施内容】

- テーマ：生活の足維持・確保に向けた地域概況データの把握及び、公共ライドシェア導入等に向けた交通空白地の抽出
- 手順
 - ① 調査：細かに現況を可視化・把握
✓ 地域の実態に見合った人口属性別（年代・世帯等）、公共交通路線、走行圏域等を重畳→交通空白地抽出
 - ② 検討：具体策の検討
✓ 抽出した交通空白地と近隣公共施設位置を掛け合わせ、定量指標の算出、交通空白地に対する施策の検討

出典：横手市地域公共交通計画（概要版）

目次



1. 補助事業概要について
2. 横手市地域公共交通計画における位置づけについて
3. 補助事業内で取り組みたいことについて
4. 交通空白地について
5. 各交通の乗降実績について
 - ① デマンド交通
 - ② 循環バス
 - ③ 有償旅客運送
 - ④ 乗合タクシー

交通空白地等の地域近況データの収集・可視化（令和7年度「交通空白」解消緊急事業）

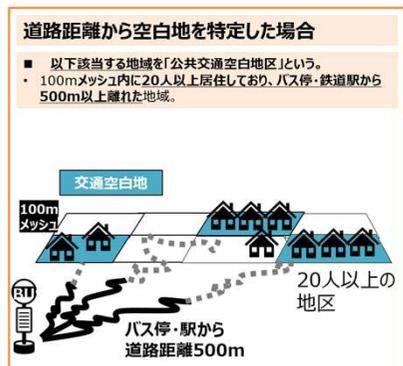
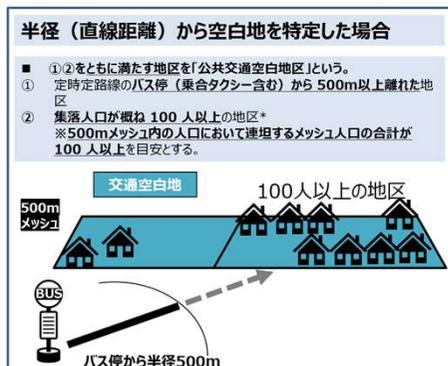
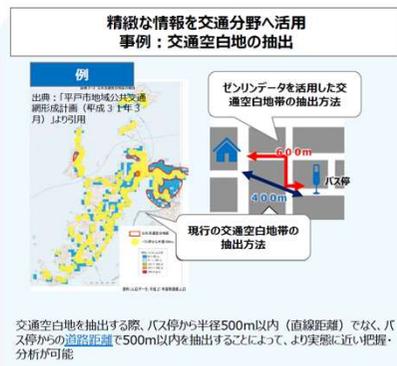
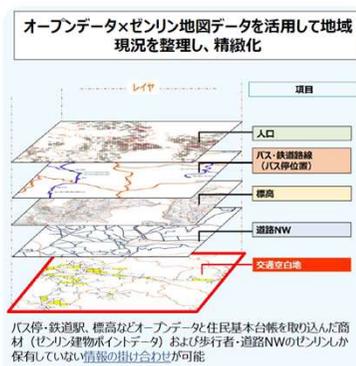
課題

- ①地域住民の移動の手段として課題がある地域、時間帯等を把握するため、現状定義している交通空白地（交通不便エリア）についてより精緻な検証が必要。
- ②民間交通・市が運営するデマンド交通等、複数の公共交通が存在している。輸送資源の利活用と適正化を進めるため、市職員でデータ収集や本協議会で現況把握と分析ができる体制整備が必要。

事業内容

- ①ゼンリンが保有する地図データ及びオープンデータを活用し、より実態に近い交通空白地の抽出。
- ②データを活用した地域概況や人口、交通モードの可視化や利用分析を行うため、必要なデータの種別等の仕様検討、QGISによる可視化と分析のプロセスを構築。

ゼンリンによる公共交通空白抽出例：道路ネットワークを利用することで、道路距離による精緻な空白地抽出が可能



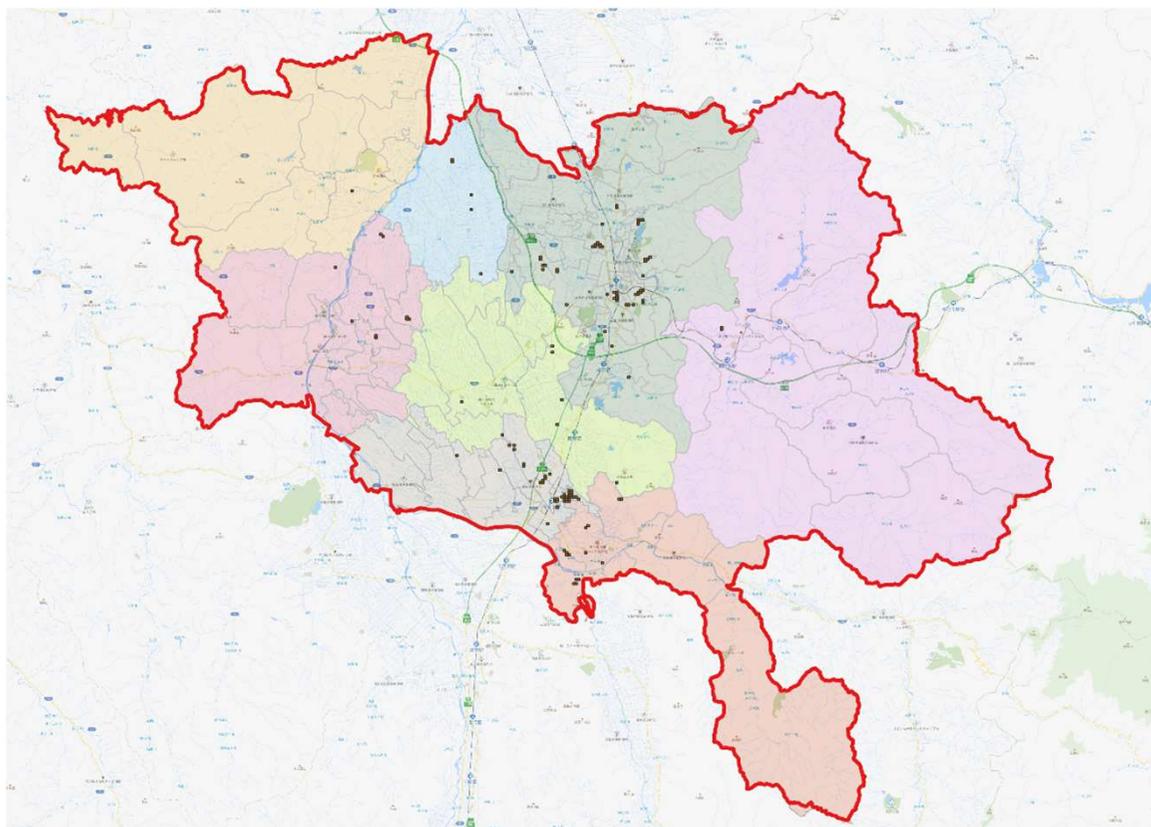
目次



1. 補助事業概要について
2. 横手市地域公共交通計画における位置づけについて
3. 補助事業内で取り組みたいことについて
4. 交通空白地について
5. 各交通の乗降実績について
 - ① デマンド交通
 - ② 循環バス
 - ③ 有償旅客運送
 - ④ 乗合タクシー

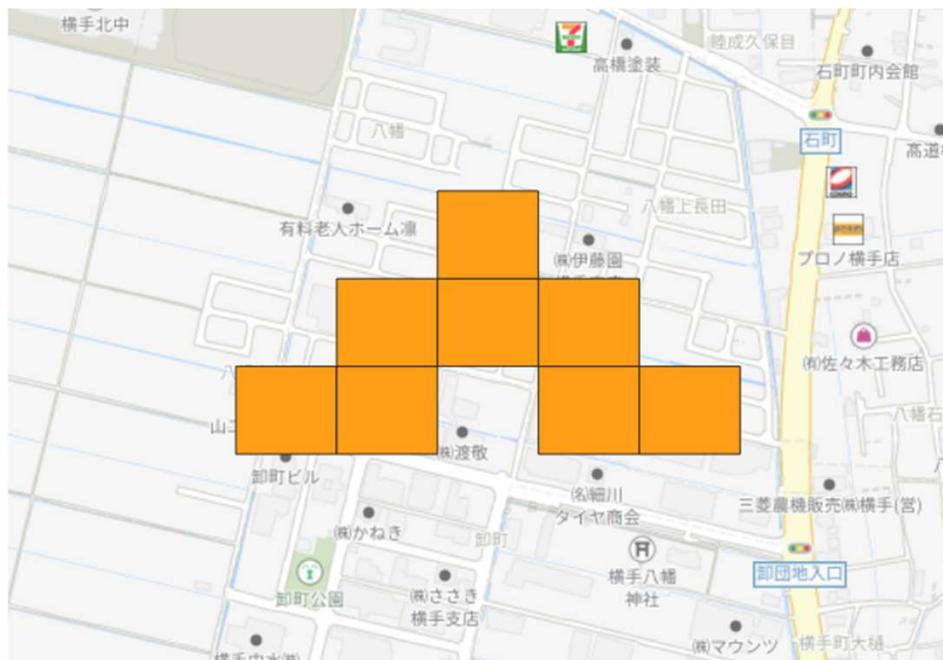
交通空白地について

「100m四方メッシュに20人以上居住、かつ
道路距離でバス停・鉄道駅から500m以上離れたメッシュ」と定義



参考：横手地域 ※一部抜粋

八幡長者町周辺



清水町新田薬師前、新田堤下周辺



赤坂城野岡道下周辺

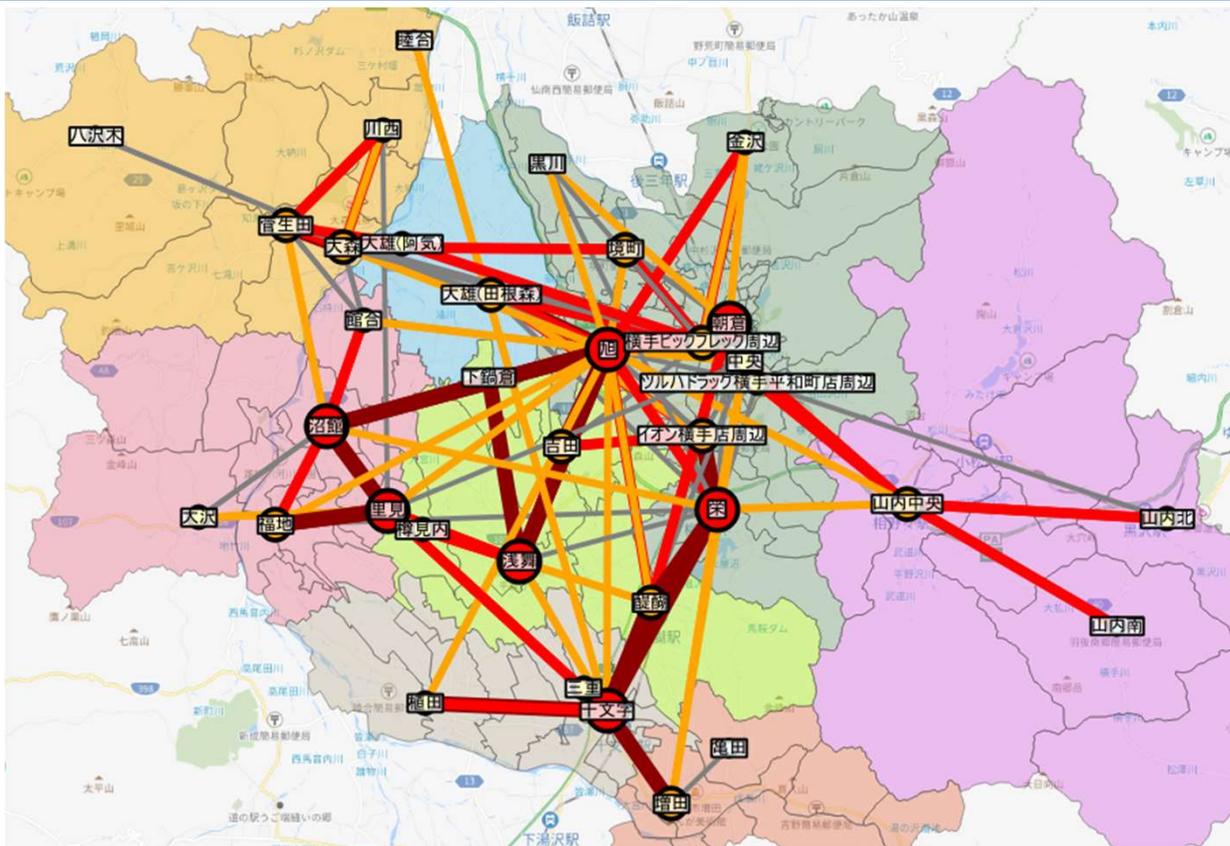


目次

1. 補助事業概要について
2. 横手市地域公共交通計画における位置づけについて
3. 補助事業内で取り組みたいことについて
4. 交通空白地について
5. 各交通の乗降実績について
 - ①デマンド交通
 - ②循環バス
 - ③有償旅客運送
 - ④乗合タクシー

各交通の乗降実績 (デマンド交通) ※一部抜粋

デマンド交通の発着地点(大字)38カ所のODをスパイダーマップ形式で地図へ可視化
 平成30年度/令和6年度の実績をもとに作成(下図は令和6年度実績)



【同一大字内での乗降回数】

- 1000回以上
- 500-999回
- 200-499回
- 200回未満

【該当大字間の乗降回数】

- 200回以上
- 100-199回
- 50-99回
- 30-49回

目次

1. 補助事業概要について
2. 横手市地域公共交通計画における位置づけについて
3. 補助事業内で取り組みたいことについて
4. 交通空白地について
5. 各交通の乗降実績について
 - ① デマンド交通
 - ② 循環バス
 - ③ 有償旅客運送
 - ④ 乗合タクシー

各交通の乗降実績（循環バス） ※一部抜粋

乗降実績データより、各バス停毎に平成30年度／令和6年度の乗降実績レイヤを地図へ重畳円の大きさで乗降者数の多寡を表現

- : 令和6年度実績
- : 平成30年度実績

イオンスーパーセンター行き



横手バスターミナル行き



目次

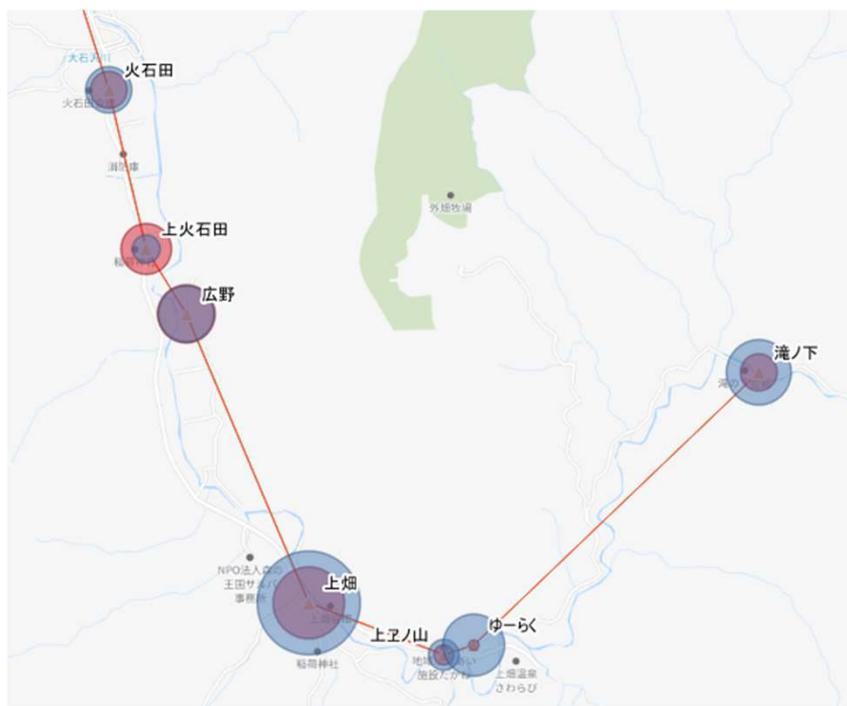
1. 補助事業概要について
2. 横手市地域公共交通計画における位置づけについて
3. 補助事業内で取り組みたいことについて
4. 交通空白地について
5. 各交通の乗降実績について
 - ① デマンド交通
 - ② 循環バス
 - ③ 有償旅客運送
 - ④ 乗合タクシー

各交通の乗降実績（有償旅客運送：上畑線）※一部抜粋

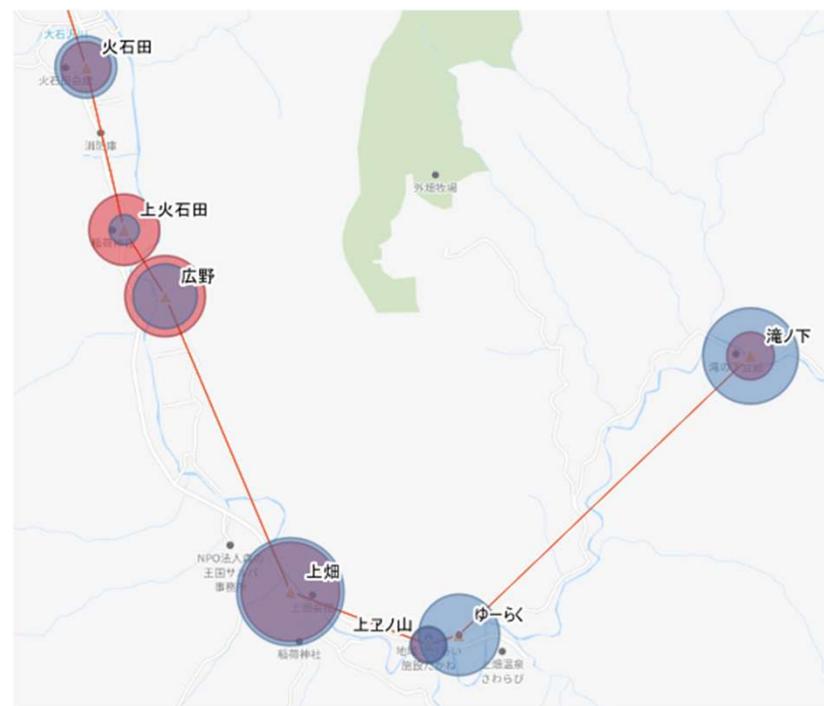
乗降実績データより、各バス停毎に令和元年度／令和6年度の乗降実績レイヤを地図へ重畳円の大きさと乗降者数の多寡を表現

- : 令和6年度実績
- : 令和元年度実績

狙半内行き



増田・十文字行き



各交通の乗降実績（有償旅客運送：柏木・大森病院線）※一部抜粋



乗降実績データより、各バス停毎に令和2年度／令和6年度の乗降実績レイヤを地図へ重畳円の大きさと乗降者数の多寡を表現

大森病院行き



福地コミュニティセンター行き



- : 令和6年度実績
- : 令和2年度実績

目次

1. 補助事業概要について
2. 横手市地域公共交通計画における位置づけについて
3. 補助事業内で取り組みたいことについて
4. 交通空白地について
5. 各交通の乗降実績について
 - ①デマンド交通
 - ②循環バス
 - ③有償旅客運送
 - ④乗合タクシー

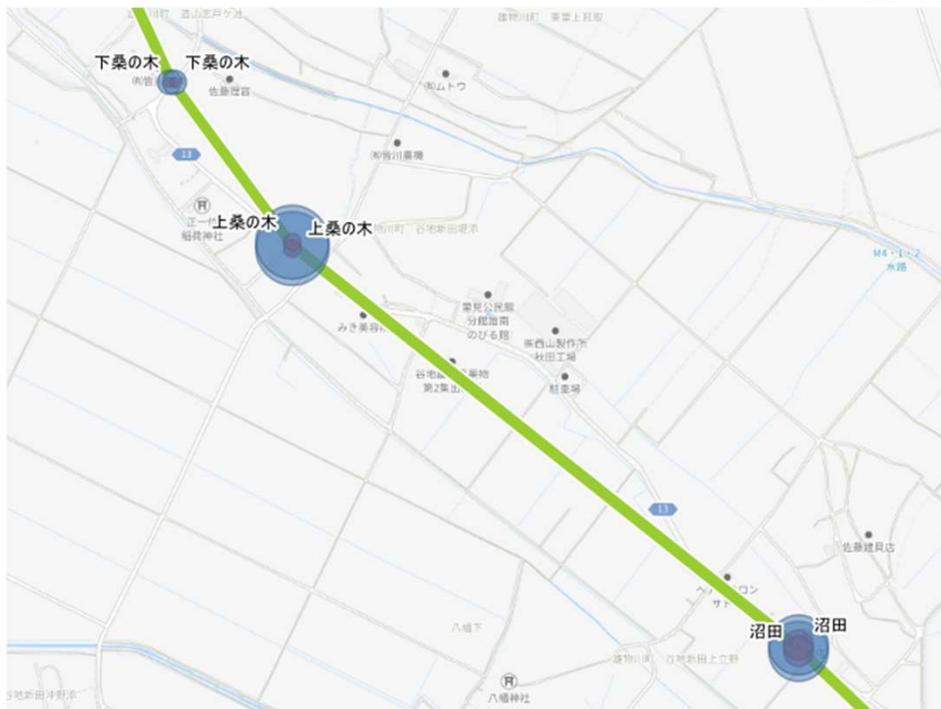
各交通の乗降実績（乗合タクシー：湯沢沼館線）※一部抜粋

乗降実績データより、各バス停毎に平成30年度／令和6年度の乗降実績レイヤを地図へ重畳円の大きさを乗降者数の多寡を表現

沼館行き



湯沢営業所行き



- : 令和6年度実績
- : 平成30年度実績

各交通の乗降実績（乗合タクシー：睦合線）※一部抜粋

乗降実績データより、各バス停毎に平成30年度／令和6年度の乗降実績レイヤを地図へ重畳円の大きさを乗降者数の多寡を表現

羽後交通十文字案内所行き



沼館行き



●：令和6年度実績
●：平成30年度実績